

一般社団法人日本遺伝性腫瘍学会 2023 年度 第 1 回理事会 議事録

日 時：2023 年 6 月 15 日（木） 12:30~14:42

場 所：高知市文化プラザかるぼーと 9 階 第 3 学習室

出席者： 理事長 石田 秀行
副理事長 青木 大輔 石川 秀樹
理 事 有賀 智之 大住 省三 川崎 優子 隈元 謙介
下平 秀樹 西垣 昌和 平沢 晃 平田 敬治 門馬 智之 山口 達郎
吉田 輝彦
監 事 田村 和朗

倫理審査委員会委員 杉本健樹（井本理事代理）

司法書士 寺本 俊孝

事務局：石坂 和子 内山 覚巳

理事 14 名、監事 1 名が出席し、本会が成立することが確認された。

議 事：

【報告・審議事項】

1. 理事長報告

石田理事長より、各種委員会や部会の諸問題ならびに 30 周年記念事業に関する対応について報告された。

2. 庶務報告

配布資料にもとづき、会員数・新規入会者（2023 年 5 月 31 日現在）、会費納入状況（2023 年 4 月 30 日現在）について報告された。2023 年度の年会費請求は、学術集会后に行う予定である。

3. 各種委員会報告・審議事項

①倫理審査委員会：

井本理事に代わり杉本委員より配布資料にもとづき、指針の改定について説明があった。後日通信理事会をすることとなった。

②総務委員会・会則委員会合同：平田理事・門馬理事

評議員選出委員会新規立ち上げについて、審議され承認された。担当理事に平田敬治先生、委員長に大木進司先生が理事長より指名され、当日配布資料にもとづき、委員のメンバーについて承認された。

③財務委員会：青木理事

配布資料にもとづき、2022 年度会計について財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書が説明された。田村監事から、会計監査について、帳簿、諸書類を照合の結果、相違ないことが報告された。また、前年度まで特別会計であった学術集会関連事業は学会の一般会計に組み込まれることとなったため、学術集会補助費は準備金に名称を変更することとなった。

④編集委員会：下平理事

配布資料にもとづき、「遺伝性腫瘍」の発刊状況、投稿論文審査状況、投稿勧誘状況について報告された。

⑤学術・教育委員会：平沢理事

配布資料にもとづき、副委員長制の導入、多遺伝子パネルによる遺伝学的検査を用いた遺伝性腫瘍の診療・管理指針（仮称）の作成、市民公開講座開催予定について報告された。謝金・旅費・宿泊費支給基準（案）について、現在会則委員会で確認中であることが報告された。理事会後に通信理事会を行うこととなった。

審議事項として、市民公開講座で使用予定の予算を上記の診療・管理指針（案）作成のための会議費等として使用することが承認された。

⑥保険診療委員会：平沢理事

配布資料にもとづき、内保連加入申請が認められ、今後は悪性腫瘍関連委員会、検査関連委員会に加入手続きを行うことが報告された。また、外保連への加入も検討してみてもとの意見があったが、現在外保連からの要望項目の多くはロボット手術関連が中心となっており、仮に加入できても当学会の提案が採用される可能性については難しいのではとの意見があった。

⑦専門医・HTC/FTC 制度委員会

●専門医制度小委員会：隈元理事

配布資料にもとづき、2023 年度の各種申請（第 7 回遺伝性腫瘍専門医試験、2023 年度専門医更新、2023 年度正規指導医申請、研修施設更新）、2023 年度 e-learning の新コンテンツについて報告された。

審議事項として、専門医試験受験料や各種申請における申請手数料について、今後 10 月から始まるインボイス制度への対応について審議され、会計士と相談することとなった。また、定年を過ぎてからの専門医更新について、手続きの簡素化・名誉専門医などの別称号の付与、等を今後委員会で検討し、次回の理事会で審議されることとなった。

●HTC/FTC 小委員会：川崎理事

配布資料にもとづき、移行措置と経過措置の 2026 年度まで延長、HTC/FTC 更新時期のリマインドアラーム（メール）送信、Web 申請への移行について審議され、承認された。また、家族性腫瘍カウンセラーから遺伝性腫瘍カウンセラーへの名称変更について発議されたが、下記の意見があり、次期理事会で再審議することになった。

- ・新規申請者の減少に伴い、本制度は廃止とする（現在の称号付与者は永久称号とする）意見
- ・認定遺伝カウンセラー、遺伝看護専門看護師など複数の職種を対象とするのは、混乱を招くので適さない

なお、新規申請者が減少している理由も含めた制度全体についての会員向けアンケート調査を行い、次回以降の理事会へ報告し、本制度の方針について審議することとなった。

⑧遺伝性腫瘍セミナー委員会：吉田理事

配布資料にもとづき、第 26 回遺伝性腫瘍セミナー・第 2 回アドバンストセミナーの開催予定について報告された。

⑨将来検討委員会：石田理事長

学術集会終了後に Google フォームにて会員へのアンケート調査を行うことが報告された。

⑩ガイドライン委員会：大住理事

特になし

⑪COI 委員会：大住理事

COI 申告について、学術集会後に対象者へ申告を依頼することが報告された。また、申告後の学会側での申告状況に対する確認作業が行われていないことが問題点として報告された。

⑫広報委員会：有賀理事

配布資料にもとづき、ニュースレター作成、新転載規程・申込書の作成、ホームページリニューアル方針、英文ホームページの基本案について報告された。

審議事項として、新委員の交代について審議され、承認された。

⑬国際委員会・がんゲノム・データベース（GDB）委員会：山口理事

配布資料にもとづき、国際共同研究グループへの委員長の個人的参加も含めた委員会活動について報告された。

⑭遺伝カウンセリング委員会：西垣理事

配布資料にもとづき、委員会活動方針として、がん診療従事者に必要な遺伝学の啓発・教育、地域毎のがん診療と遺伝診療の連携に重点的に取り組むことが報告された。

今後の活動予定として、遺伝性腫瘍を専門としないがん診療従事者（非会員を含む）への啓発動画の作成、遺伝性腫瘍関連 web リソースリスト・ポータルサイトの作成、地域連携のための情報交換会の開催予定について報告された。

⑮作業部会委員会：石川理事

3つの部会について活動報告がされ、継続が承認された。

4. その他

・30周年記念事業：石川理事

配布資料にもとづき、30周年記念事業の進捗状況について報告された。記念誌は学会誌の特別号とし、編集担当理事と相談し、次回の学術集会時に配布できるように準備を進めていく予定である。

・第30回学術集会準備状況報告

下平会長より、第30回学術集会の準備状況について報告された。

・第32回学術集会会長の件

第32回学術集会会長候補選出について、井本逸勢理事が会長として内定した。

・地方会（支部会）の発足について

東北・九州支部の発足に向けて次回の理事会にて審議することとなった。

・患者会の旅費について

学会として、現在ある旅費規程に患者会の旅費についても、審議を行い明文化することとなった。

・第2回理事会の日程について

候補日9月29日、30日、10月27日、28日で理事メールにて調整することとなった。

以上をもって議事の全部を終了し、議長は14時42分閉会を宣した。

以上